

## JICA 基金活用事業 案件概要

I. 事業の概要	
1. 事業名称	子ども・若者を中心とした浦幌町の持続可能な国際交流・多文化共生実証事業
2. 活動国・地域	日本・北海道浦幌町
3. 事業分野 ※どちらか選んでください	<input type="checkbox"/> 開発途上国・地域の人びとの貧困削減や生活改善・向上に貢献する事業 <input checked="" type="checkbox"/> 日本国内の多文化共生社会の構築推進、外国人材受入れ支援に関する事業
4. 事業の目標	浦幌町において、多文化共生の価値を地域に根付かせるため、アフリカ・マリ共和国をはじめとする他国と本町の子どもたちを中心に異文化理解と表現力・共感力を育む教育的アプローチを展開する。地域住民が異文化や外国人に対する理解を深め、自発的な交流や受け入れが進む素地を育てることを目指す。
5. 事業の背景・経緯・対象地域の課題・人びとのニーズ	「一過性ではなく継続的な国際交流の場づくり」を求める声が高まっている一方で、町内では外国人住民と関わる機会が少なく、日常的な異文化との接点や多文化共生に関する地域の理解は限定的である。また、子どもたちが異文化への素養を深めることの意義が地域内でも認識され始めている。しかし、現在の地域社会には、多文化共生や異文化理解を日常的に育む機会がまだ十分に根づいていないという課題がある。
6. 事業の意義・目的	本事業は、単なる国際交流にとどまらず、地域に異文化理解と多様性へのまなざしを深める「学び」の場をつくることを目的としている。町内の小中学生および地域住民が連携し、「交流」や「対話」を通じた異文化理解の体験を創出することで、国際交流を一過性のものとせず、地域の暮らしや学びの中に息づかせることを目指す。地域に暮らす一人ひとりが「文化のちがいを受けとめ、尊重しあう関係性」の重要性を理解し、外国人を自然に受け入れられる多文化共生社会の基盤形成を図る。
7. 主な対象者（受益者）	浦幌町内の小中学生及びその保護者を中心とした町民
8. 実施期間	2026年2月～2026年6月
9. 活動内容	子どもを起点とした異文化交流を通じ、地域に多文化共生が根づくことを目指し、以下活動を実施する。 ・ ①子どもを中心としたスポーツや音楽を通じた文化体験 ・ ②ハラル料理を題材とした「違いを認める」ワークショップと対話 ・ 多文化共生社会についての講演およびディスカッション ・ 成果の記録・地域への共有
9. 事業費	1,000,000 円
II. 団体の概要	
1. 実施団体	一般社団法人 SackOmi
2. 主な活動内容	子どもたちの「自信・当事者意識・未来思考」の獲得と、若者の「オーナーシップ・エンゲージメント」の成長を支える。産学官民との連携をもとにプラットフォームを運用し、日本と西アフリカの新たなパートナーシップを構築することを目指す。